

アメリカの航空博物館 第1回

飛行機ファンは鉄道ファンほど知られていませんが、私はその一人です。

鉄道ファンに比べるとマイナーな感じは否定できません。それは、特に日本では、鉄道ほど身近ではないのと、どうしても軍用機が中心になるからではないでしょうか。

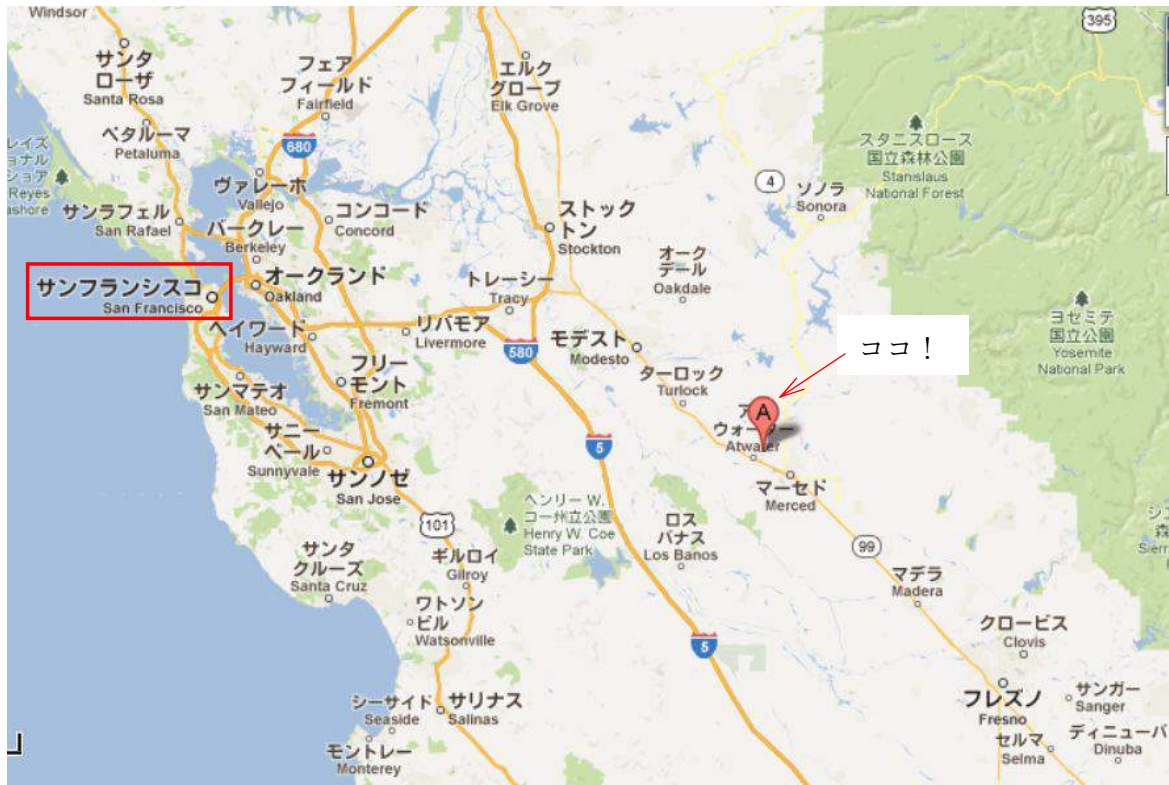
それはさておいて、飛行気を博物館で楽しもうとすると、日本とは比べものにならないほど充実しているアメリカについて、限られた時間の中でではありましたが、仕事で渡米したついでとかでの体験を紹介します。飛行気のお好きな方の参考になれば幸いです。

紹介する航空博物館の所在地



- ① カーソル(カッスル)エアミュージアム
- ② トラビスエアフォースベースヘリテージセンター ジミー・ドーリットル航空宇宙博物館
- ③ オークランドアビエーションミュージアム
- ④ USS(アメリカ海軍)ホーネットミュージアム
- ⑤ スミソニアン博物館 国立航空宇宙博物館(本館・別館)
- ⑥ (ペンサコーラ) 国立海軍航空博物館
- ⑦ (番外)リノエアレース

① カーソルエアミュージアム Castle Air Museum 5050 County Road 37, Atwater, CA,



サンフランシスコより車で2~3時間位. 田舎町の広大な敷地を歩いて回ります. 暑い時期に行く場合, 十分な水を用意しておくこと. 屋外展示場に飲み物の自販機は有りません. このミュージアムはプロペラ戦闘機の展示は有りません



ミュージアム全景図

今はこの B-36
の周りに、沢山
のジェット戦闘
機が展示されて
います。



展示機の一部

ロッキード SR-71 “ブラックバード” (高高度偵察機)

高度 25000m 強で
時速 3529km の
記録を持つ。
この速度で飛ぶと
空気を断熱圧縮
して、機体表面
は 300°C を超える
ため、全面チタ
ニウム材だ
そうです。



ボーイング B-17 “フライングフォートレス(空飛ぶ要塞)” (爆撃機)

第2次大戦中、ドイツ爆撃の主力機。
12000機以上も生産された。



P-51(ムスタング)が出るまではドーバー海峡を越えると、護衛戦闘機なしになるため、密集大編隊(多い時は数百機!)で、ドイツの迎撃戦闘機に弾幕を張って対抗したようです。写真は12丁/機の1/2インチ機関銃のうちの前方の2丁。



ボーイング KC-97 “ストラトフレイター(成層圏の貨物船)” (空中給油機)

写真は最終型で、給油する相手がジェット機に変わり速度不足のためにジェットエンジンを追加した型。この輸送機型 C-97 の民間型は、ボーイング 377 “ストラトクルーザー”。豪華2階建てのボーイング最後のプロペラ旅客機となる。



アプロ(英国) “バルカン (ローマ神話の火と鍛冶の神)” (爆撃機)

冷戦時代の仮想敵国
ソ連に原爆投下を想定
した爆撃機.



三角翼であることがよくわかる
写真.
(ウィキペディアより)



ボーイング WB-50 “スーパーフォートレス (優れた要塞)” (気象偵察機)

B-29 と間違えそうだが,
B-29 のエンジンをライト
社の 18 気筒 54900cc から
プラット&ホイットニー
社の 28 気筒 71400cc に
変えたようなのが B-50.
しかし爆撃機もジェット
エンジンの時代で, 気象偵
察機に改造されたものが
これ.



ダグラス B-18 “ボロ（山刀）”（爆撃機）



ダグラス B-23 “ドラゴン”（爆撃機）



コンソリデーテッド B-24 “リベレータ（解放者）”（爆撃機）

これもドイツ爆撃の主力機。B-17 に比べ高性能だが、脆弱で低サバイバビリティの評あり。18000 機以上が生産された。



川崎 KAQ-1 “ドローン” (標的機)



ボーイング B-47 “ストラトジェット” (爆撃機)



ボーイング B-52 “ストラトフォートレス(成層圏の要塞)” (爆撃機)

1962年に生産は
終わったが、今も
現役.



コンベア B-36 “ピースメーカー” (爆撃機)

アメリカ本土からドイツを爆撃する計画でスタートしたが、大戦が終わったので、水爆を運んで投下する目的に変わった。



水爆の模型

元々はプラット & ホイトニーの空冷 28 気筒エンジンを 6 基 (合計 168 気筒!) だったが、更にジェットエンジン 4 基が追加された。



積んでいたと思われる水爆の模型。本物が一度も実際に使われなかったのは、人類にとって幸い。



ダグラス A-4 “スカイホーク” (艦上攻撃機)

小型軽量だがそこ
そこの性能で堅牢.
1954 年初飛行ながら
米海軍でも 2003 年
まで現役.
胴体内に爆弾倉は
無く, 全て主翼下
に吊す.



ノースアメリカン F-100 “スーパーセイバー” (戦闘爆撃機)

自衛隊も使って
いた F-86 セイ
バーの後継機.
世界初の実用
超音速戦闘機.
水平飛行で音
速を超えた.



以上ですが、他にも沢山の展示機があります。
次回も見えていただければ幸いです。